

平成27年度  
事業計画

公益社団法人 全国競輪施行者協議会

## 事業方針

平成26年度は、競輪事業浮上の年と位置付け、前年度の5%増の売上目標を掲げ、開催節数の削減及び場間場外発売の拡充、記念競輪（GⅢ）開催のレース数増、FⅠ出走表を掲載する新聞社数の倍増など、競輪事業の活性化に積極的に取り組んだ。

しかしながら、平成26年4月からの消費増税による影響、或いは、SS11による選手会脱会問題などもあり、平成26年4月から平成27年2月までの車券売上額は5,637億円余で、対前年比1.3%の伸びとなっている。

このような中、平成27年度は、引き続き、さらなる開催節数の削減、場間場外発売の拡充に加え、特に若年層の新規顧客獲得に狙いを絞った新たな広報宣伝・CM等を展開し、売上はもとより施行者収支の向上を図るステップの年と位置付け、特に次の事項を重点的に取り組んでいくこととする。

- 1 若年層の新規顧客獲得を図るため、新たなイメージキャラクターを採用したテレビCMを放映し、効果的な広告宣伝・CM等を展開する。
- 2 平成28年度以降の選手2,300名体制を見据え、適正な開催運営ができる開催枠組みを構築する。
- 3 売上向上と来場者促進に繋がる特別競輪等の開催日程の調整を行うとともに、普通競輪（FⅠ・FⅡ）の開催競合を減らし、場間場外発売の拡大を図る。
- 4 インターネット投票即時決済対応銀行（ネットバンク5行）と連携してキャンペーン等を実施し、電話投票・インターネット投票会員の拡大と売上向上を図る。
- 5 2020年の東京オリンピックを支援すること等を目的とした目的競輪を開催する。

## 企 画 部

### ○ 企画関係

#### 1 競輪振興法人等に対する交納付金

地方公共団体金融機構納付金については、総務省に要望活動を行い、前回改正時の施行者負担からさらに20%減額することができたため、今後、施行者の収支状況に好影響を及ぼすと思われる。

また、平成24年度に改正されたJKA交付金制度による施行者の収支状況及び今後の推移等を確認・検証する。

#### 2 競輪事業振興にかかる諸施策の検討

(1) 競輪事業が将来的にも収益事業として成立していくために導入した開催枠組みについては、平成27年度に各場3～4節を削減し、FI開催についても最大で17節の削減を成し得た。引き続き、平成28年度以降の選手2,300名体制を見据え、適正な開催節数による安定的な開催運営ができるよう関係団体と協議する。

(2) 目的競輪を開催し、2020年の東京オリンピックを支援すること等のために支出する資金を積立てる。

(3) 女子選手の増加に伴い、ガールズケイリンの新たな開催方法を検討する。

(4) 本場への来場促進を図るため、他公営競技の事例を参考に、より効果的な施策の検討を行う。

#### 3 賞金制度

平成26年度に見直しを行い、平成27年度の賞金基準の一本化を図った。今年度は、着位賞金の優勝劣敗体系について、関係団体と検討を行う。

#### 4 競技実施法人委託経費

施行者負担額の軽減を図るため、平成28年度委託費の削減について、適正な競技実施法人の執務体制、発走合図・周回板の機械化等の見直し及び委託費の算定方法についてJKAと協議を行う。

### ○ 調査関係

#### 1 施行者収支決算の取りまとめ

自転車競技法施行規則第34条に基づく収支決算に関する報告を取りまとめ、施行者収支決算書を作成する。また、同データをもとに、過去の収支改善策の検証に活用し、今後のさらなる改善策を検討する。

#### 2 統計資料

競輪及び各公営競技の売上高・入場者数等の統計資料の作成や、収益金の使途状況、競輪場入場料及び賃貸料等の各種調査を行い、競輪事業の運営

等に供するための情報提供を行う。

### 3 競輪場ネットワークシステムの活用

全国 43 施行者を結ぶ『競輪場ネットワークシステム』を活用し、本会各部からの各種調査、集計等を迅速かつ簡易的に行い、一層の事務効率化の推進と、各種売上・統計資料等の提供による施行者間の情報共有に努める。

### 4 競輪場サマリーの作成

全国 43 競輪場の売上・収支動向や自治体基本情報等の基礎データを調査・集計し、各場の特色を判りやすく明記した「競輪場サマリー」を作成、各施行者に配布した。施行者がいつでも活用できるよう『競輪場ネットワークシステム』に保存するとともに、逐次、改訂していく。

### 5 関係法令の運用

競輪関係諸法令等に関連し、必要となる条例・規則等ガイドラインの整備、運営面の検討を行う。

## 業務・広報部

### ○ 業務関係

#### 1 開催日程の調整

##### (1) 特別競輪等

平成 28 年度は、日本選手権競輪・オールスター競輪などの日程を変更するとともに、G II 開催を新設するなど大きな変更を行うこととした。

今年度は、お客様への日程の変更の周知をはじめ、売上向上と来場者促進につながる施策を開催施行者及び関係団体と検討する。

##### (2) 記念競輪

平成 26 年度の記念競輪の売上及び収支の状況を分析して、改善策を平成 28 年度記念競輪の日程調整に活用する。

##### (3) 普通競輪

F I の節数削減による売上状況を検証し、更に適正な日程の調整に努める。

ナイターの F I と F II 開催の競合を減らすよう、ナイター競輪実施施行者連絡協議会と調整を行う。

また、ミッドナイト競輪の開催日数の拡大と適正な開催を、ミッドナイト競輪連絡協議会と調整を行う。

##### (4) 目的競輪

オリンピック協賛金を拠出するための目的競輪の日程は、記念競輪の日程と併せて調整を行い、その後、開催場の募集を行い決定する。

##### (5) 企画レースの日程調整及び開催場の募集

企画レース（ルーキーチャンピオンレース・レインボーカップ・ガールズケイリン特別レース・ケイリンエボリューション）の日程は、売上向上と新規顧客の獲得を目的とした最適な開催日程を調整し、開催場の募集を行う。

#### 2 場間場外発売の拡大

平成 26 年度の節数削減により、場間場外発売が拡大し売上向上と収支改善が図られた。今後は、更に、場間場外発売が充実するよう努めていく。

#### 3 労務対策の円滑な推進と情報収集及び提供

- (1) 賃金、一時金等の支給状況について、各場から情報収集を行い、団体交渉資料等に資するため、情報提供を行う。

- (2) 隔年毎に臨時従事員実態調査等を実施し、労務管理資料として施行者に情報提供を行う。

## ○ 広報関係

### 1 テレビCM関連

若年層の新規顧客の獲得に主眼を置き、次の施策を実施する。

- (1) 平成28年度に向けて、JKAとCMの一元化を図り若年層の投票行為へ繋がる効果的なCMを企画し制作する。
- (2) 今年度は、NHK連続テレビ小説「マッサン」に出演した柳ゆり菜を起用することとなった。今後、新CMを全国ネットの番組で放送するとともに、CMの効果測定を行い、新規顧客の拡大に努める。

### 2 新聞関連

場外発売・電話投票・インターネット投票の売上向上を図ることを目的に、全国を対象として、次の施策を実施する。

- (1) 特別競輪等開催時において、サマーナイトフェスティバルが3日制へ変更したことによる1日分と、中部・九州地区の一部未掲載だった紙面を追加し、開催施行者と本会の共同事業による全紙15段掲載紙面カラー拡充化を実施し、売上向上並びに来場促進を図る。
- (2) 「FⅠ出走表掲載事業」によりFⅠ開催の売上向上が図られたため、さらなる充実を目指しJKAと全輪協で共同実施する。
- (3) GⅢ開催について、「GⅢ出走表掲載事業」を継続して実施する。さらに、目的競輪についても全スポーツ紙に新たに実施する。

### 3 顧客拡大施策

- (1) 平成27年度に「知的推理ゲーム大会」に代わる新施策を提案し実施する。
- (2) フェイスブック「いいね！ケイリン情報局」（週に3,000件程度のアクセス数）を、更に充実強化し、各場からの情報を新規顧客獲得に資するよう配信を行う。
- (3) 現行ガイドブックが好評であるため、更に新規のお客様の利用に供するために「競輪入門ガイドブック」を改訂し、4月に配布する。

## ○ 保安関係

### 1 自衛警備活動の強化

#### (1) 開催運営・広報委員会の開催

開催運営・広報委員会において自衛警備活動の強化及び暴力団等、不法行為者の排除に関する事項を審議、決定する。

#### (2) 自衛警備体制等の実態調査

競輪場等の治安情勢に対応した自衛警備活動を推進するため、自衛警備体制及び警備資機材の整備状況並びに暴力団・ノミ屋等追放対策推進状況等の実態調査を行う。

#### (3) 警備担当者研修会の開催

自衛警備隊員の資質の向上を図り、法令に基づく適正な警備業務を推進するため警備担当者を対象とした研修会を開催する。

#### (4) 事故防止総合訓練の実施

競輪場等の秩序を維持し観客等の安全を確保するため、地震、火災等の突発事案の発生を想定した情報伝達、初期消火、避難誘導、負傷者救出救護等の総合訓練を実施する。

### 2 暴力団・ノミ屋等追放対策の推進

#### (1) 暴力団・ノミ屋等追放対策中央推進会議連絡会の開催

経済産業省及び警察庁担当官の出席の下に、暴力団・ノミ屋等の追放対策及び年間活動推進計画等について審議、決定する。

#### (2) 暴力団・ノミ屋等追放対策地区推進会議の開催

所轄経済産業局及び管区警察局等担当官の出席の下に、暴力団・ノミ屋等の追放対策推進状況の報告及び情報交換を行い、各地区における暴力団・ノミ屋等の追放対策を推進する。

#### (3) 暴追対策合同情報交換会議の開催

各地区別に競輪・オートレース・競艇の公営競技場による暴追対策合同情報交換会議を開催し、暴力団に関する情報交換と情報の共有化を図り、効果的な暴力団・ノミ屋等の追放対策を推進する。

#### (4) 暴力団・ノミ屋等追放対策推進ブロック連絡協議会の開催

各ブロック別に管区警察局、都府県警察本部、所轄関係機関及び各公営競技団体合同による暴力団・ノミ屋等追放対策推進ブロック連絡協議会を開催し、暴力団・ノミ屋等の追放対策に関する情報交換と情報の共有化を図り、各公営競技団体等が統一した暴力団・ノミ屋等の追放対策を推進する。

(5) 暴追対策等現地関連調査

競輪場等に赴き自衛警備体制及び設備等の現状を視察し、各種資料の収集を図り、効果的な暴追対策を推進する。



## 情報システム部

### ○ 情報システム関係

#### 1 次期車両情報システム構築（Next-VIS）に向けた対応

Next-VISの構築に際し、引き続き、全体コストの縮減が図れるようシステムの調達開発、運用等の適正化を図る。

平成28年4月に先行稼働するAブロック（投票集計管理）では、各競輪場が円滑かつ安全なシステム移行が可能となるよう、JKAと連携し、具体的な作業内容等の確認、調整を図るとともに、システム全体の開発工程等の進捗管理を行う。

#### 2 レース映像等の高画質化（HD化）の促進

お客様の満足度を高めるレース映像等の完全HD化を平成29年度から全場実現（平成26年度末HD化移行場：43場中19場）するため、HD化対応に係る改修範囲、経費等の情報提供を行い、今後2年間の中で未対応場のHD化促進を図る。

また、映像集配信ネットワーク（BRONSE）のコスト抑制策の検討を進め、施行者利用料の低減を早期に図る。

#### 3 システムの安定稼働に向けた対応

昨年11月の競輪祭で発生したスマートフォン利用での投票行為がしにくくなる事象に対しては、現在、根本的解決までには至っていない。今後のスマートフォン利用者の飛躍的な増加傾向を見据えた中で、関係システムの性能向上等、抜本的な改善策を講じていく。

#### 4 競輪場施設設備の状況把握と施設概要更新

競輪場の施設改修状況調査を通じて、競輪場施設整備の情報把握に努め、施設概要のデータを更新し施行者に情報提供を行う。

### ○ サイクルテレホン事務センター（CTC）関係

#### 1 電話投票・インターネット投票会員の拡大

(1) インターネット投票即時決済対応5銀行（楽天銀行、ジャパンネット銀行、三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行、住信SBIネット銀行）（以下、「ネット銀行5行」と連携し、メールマガジンの活用やキャンペーンを充実することでインターネット投票会員の拡大を図る。更に、関係団体と協議し、新たなネット銀行の参入を目指していく。

(2) GP・GI・GII開催を軸として、年間を通じたキャンペーンの充実強化を行い、電話投票会員の拡大及び売上増進を図る。

#### 2 競輪ポイントサービス導入に向けた対応

Next-VISの全機能が稼働する平成29年4月からの導入を目指している「KEIRINポイントサービス（仮称）」の実施に向けて、具体的な運用方法等について検討していく。

### 3 電話投票・インターネット投票会員への情報提供

- (1) 会員情報誌「Winning Run」は、通常版の他 26 年度から実施しているインターネット向けの Web 版についても充実強化し、幅広い顧客層に対する情報提供を行い、キャンペーン等を実施して車券購買意欲の促進を図る。
- (2) 全競輪場の出走表、競走結果等の情報提供を無料で行う「無料 F A X B O X サービス」(11 年度からサービス開始)を今後も引き続き実施する。また、利用者の更なる拡大を図るため、C T C のホームページ、会員情報誌の活用等により、会員への情報提供を行い周知を図る。
- (3) C T C のホームページの内容を充実するため、新規顧客獲得及び情報発信の場としてのコンテンツの拡充を図る。

### ○ 重勝式統一発売関係

#### 1 売上向上策の推進

- (1) K E I R I N . J P の会員に対して、購入促進を図るため会員情報誌、メール配信や D o k a n t o ! ポイントクラブを通じてキャンペーンを実施する。
- (2) 平成 27 年度の売上目標として、前年度の 5 % 以上 ( 8 億円超) を目指し、電話投票売上の 7 5 % を占めるインターネット投票の更なる拡充を図るため、ネット銀行 5 行と連携した新規顧客拡大策を実施する。

#### 2 重勝式統一発売に係る業務

重勝式統一発売を円滑に行うため、開催情報の確認や発売業務に関して、競輪開催中の共同開催施行者との連携のほか、J K A 及び民間ポータルサイト ( チャリロト、K ドリームス、オッズパーク ) と連携を密に図りながら、安定的な車券発売実業務を行う。

## 総 務 部

### 1 公益社団法人としての運営

平成26年度からの公益社団法人への移行に伴い、昨年度は新たな規程の制定をはじめ現行規程の改正等諸規程の整備を図り、本会の円滑な運営及び公益の会計基準に基づく適正な会計処理に努めた。

平成27年度は、引き続き、より円滑な運営及び適正な会計処理を進めるため、公益法人協会等の研修参加、顧問弁護士、公認会計士等との積極的な連携を図る。

### 2 事業・事務経費の見直しによる事業効果の検証

昨年度に引き続き、総会、理事会をはじめ、各種委員会等の会議体の充実を図るとともに、各部事業経費の見直しに対し、更なる徹底化を図り、事業効果の検討・検証を行う。

### 3 全国公営競技施行者連絡協議会の円滑な運営

公営競技を巡る厳しい諸状況に対応するため、引き続き、総会及び情報交換会等を実施し、情報の共有化に努める。